

岐阜県立岐阜高等学校で防災講座を行いました

令和6年7月16日（火）、岐阜県立岐阜高等学校で1.2年生の防災委員34名に防災講座を行いました。学校のすぐ近くには長良川が流れています。この学校での講座は2回目です。

講座では、VR・映像による浸水疑似体験、伊勢湾台風やこの地域でも被害のあった昭和51年の9.12豪雨災害など過去に発生した水害の説明を通して、水害の恐ろしさを学習しました。

また、堤防は決壊する恐れがあることや決壊のメカニズムなどを知らない生徒さんも多く、堤防決壊実験を通して初めて知ったとの声も聞かれました。

生徒からは、「自分を助けるだけでなく、周りの人も助けたいと思った。」「備えがいかに大事なのかを学ぶことができてよかった。実際に起きたときは、迅速な避難や行動を起こすことが大事であると分かった。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は岐阜新聞、ケーブルテレビCCNに取材頂きました。

